平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	中南米民主主義強化支援プログラム	担当部局庁	中南米局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度	担当課室	中米カリブ課	課長 野口 泰			
会計区分	一般会計	施策名	I-3 中南米地域				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中南米各国の民主主義・安定・発展は、日本の対中南米外交の柱の一つであり、中南米各国における民主主義の強化・定着の支援、政情不安になっている国や政治的な危機の後に民主化プロセスに入っている国等の現地情勢とニーズの把握・分析を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民主主義の強化・定着の支援のため、中南米各国の各種選挙への監視要員の派遣や、現地情勢及び具体的な支援ニーズの把握のための本省職員の現地派遣の実施。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	1	1	1	2
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	2	1	1	1	2
	執行額	1	0	0	-	-	
執行率(%)	50.0%	0%	0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	<成果目標> 中南米諸国の中で、民主化促進のため選挙監視が必要な国等に要員を派遣し、当該国の安定に寄与する。 <成果実績> 選挙監視要員を派遣した国の数(達成率・我が国が選挙要員を派遣した国の数/各年度に米州機構が選挙監視団を送った国の数)	成果実績	国数	1	0	0	1
		達成度	%	11%	0	0	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	民主主義の強化・定着のため、必要な要員を派遣する。 (注)20年度はエルサルバドルの大統領選挙に選挙監視要員を派遣。22年度はハイチでの選挙監視を予定していたが、コレラの流行により文人の派遣を見送り、本省職員にて対応。	活動実績	派遣人数	1	0	0	-
		(当初見込み)	(1)	(1)	(1)	(1)	
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費	1,282	1,534	行先の変更によるもの			
	謝礼	97	100				
計	1,379	1,634					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	22年度は、ハイチでの選挙監視を予定していたが、コロナの流行により見送ることとなり、実績が残せなかった。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	×	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・選挙監視への派遣1名分の出張費であり、必要最低限の水準。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					